令和 6 年度実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成団体	福島県国見町
間接助成団体	国見町総合型地域スポーツクラブ「ももたんスポーツクラブ」
事業細目名①	総合型地域スポーツクラブ自立支援事業
事業名①	国見町総合型地域スポーツクラブ「ももたんスポーツクラブ」
助成金額①	720,000 円
事業細目名②	総合型地域スポーツクラブマネジャー設置支援事業
事業名②	国見町総合型地域スポーツクラブ「ももたんスポーツクラブ」
助成金額②	864,000 円

■調査内容

令和 6 年度総合型地域スポーツクラブ活動助成（自立支援事業及びクラブマネジャー設置支援事業）で福島県国見町が行っている「国見町総合型地域スポーツクラブ『ももたんスポーツクラブ』」の実施状況について調査を行いました。

ももたんスポーツクラブは、これまで国見町になかったスポーツクラブを作ろうという機運と、中学校の運動部活動の地域移行の受け皿としての総合型クラブ作りの話が後押しとなりできたクラブです。クラブは、令和 5 年度に総合型地域スポーツクラブ創設事業によるくじ助成の支援を 1 年間受けながら、令和 6 年 3 月に総合型クラブとして設立し、令和 6 年度から活動を開始しました。

調査当日は、ニュースポーツの一つであるモルック教室の視察を行いました。モルック教室は、小学生から一般を対象としており、午前と午後に活動を実施しています。調査当日は、広い芝生の上でクラブマネジャー（指導者）とモルックを投げる度に、声をあげながら競技を楽しむ様子が見られました。

■助成の意義

令和 5 年度から継続的にくじ助成を受けたことで、創設段階の設立準備委員会等の会議や体験会を計画的に実施することができました。また、クラブ活動に必要なスポーツ用具の調達及び指導者の諸謝金、並びにチラシの作成、町内全戸へ配布等に充当できたことで、クラブ設立後の教室の開設・実施に繋がる活動や認知度の向上につながったようです。

そして、総合型クラブの運営面では、クラブマネジャーの賃金に対する助成を受けることで、クラブマネジャー1 名を配置でき、国見町との連絡調整、幅広い世代の会員や地域住民とのコミュニケーションも円滑に行うことができているようでした。

■事業効果を高めるための取り組み

総合型クラブとして活動するに際しては、事前に地域住民に対してニーズ調査を実施し、地域住民がどのようなスポーツを実施したいか等の調査を実施しました。現在活動している教室（活

動中は 6 種目）は、それらの結果に基づいて実施しています。また国見町の広報誌にも掲載してもらうことで、効果的な広報活動を行っております。さらに、地域のスポーツイベントやお祭りにも積極的に参加し、体験会の開催やクラブの広報活動を行うことで、クラブの教室に来てもらえるような活動を行っているようです。その結果、会員数（調査時は 33 名）は徐々に増えてきていますが、試行錯誤を繰り返しながら、会員数の目標設定や活動内容を調整・検討しているようでした。

■その他

クラブは SNS での発信は行っていますが、まだ正式なホームページを作成していないため、これから新たに作成していきたいとのことでした。イベントとしては、国見町出身のアスリートや、福島県のプロスポーツ選手等を招いてイベントを開催することを計画しているようです。その他にも地域で実施される他のスポーツイベントに出向き、そこで協賛している企業等への協力の働きかけも今後行っていきたいとのことでした。

■所感

クラブは活動を開始したばかりですが、早速、保健指導等を行う外部の団体から活動の依頼が来るなど期待が大きいようです。また、クラブ設立の一つのきっかけである運動部活動の地域移行についても受け入れ先として期待されていますが、現在の育成段階にあるクラブの状態を考慮した上で、慎重に検討していくようです。さらに、会員数や会員の属性についても 5 年後やくじ助成終了後のことを見据えた会費や活動内容の設定等を考えているようでした。

今後の課題としては、当面のクラブの安定的な収入の確保があるとのことですが、この点も町の事業を受託することを視野に、クラブの法人化やサブマネジャーの配置等についても検討していくそうです。

今後、クラブが町の基本理念である「みんなでスポーツ　元気な町づくり」のために、子どもから高齢者までスポーツの楽しさを体験できる場と機会を提供し、人と地域がつながるコミュニティ活性化に寄与されることを期待しております。

（令和 6 年 9 月 6 日往査）

（写真）モルック教室の様子



